

第1回横浜川崎区の強制水先に関する検討会（議事概要）

日 時：平成26年2月26日(水)15:00～17:00

場 所：中央合同庁舎第2号館15階海事局会議室

出席者：石橋委員、糸屋委員、井上委員、今津委員、大村委員、落合委員（座長）、川村委員、小島委員、佐々木委員（代理根本氏）、杉山委員（座長代理）、中条委員、中島委員、根本委員、福永委員

【国土交通省】

竹田審議官、吉永海技課長、今井次席海技試験官、梅野港湾局計画課港湾計画審査官、住本海上保安庁交通部安全課長

1. 議事

- (1) 検討会の目的、スケジュール等
- (2) 水先及び横浜川崎区の現況
- (3) 横浜市からの説明
- (4) シミュレーション調査の実施方法（案）
- (5) その他

2. 議事概要

- (1) 検討会の目的、スケジュール等

事務局から検討会の目的、スケジュール等について説明を行った後、質疑応答を行った。委員から意見はなかった。

- (2) 水先及び横浜川崎区の現況

事務局から水先及び横浜川崎区の現況について説明を行った後、質疑応答を行った。委員からの主な意見は以下のとおり。

- 入港隻数が減少したことで交通環境は変化した、その他の環境変化が知りたい。
- 外国人船長の船舶が増えていると思うが、それを示す資料が欲しい。
- 過去からの大きな変化として、AISの整備がある。これを評価に加味することができるのではないか。
- 横浜港の危険物船の入港隻数のうち、根岸湾が8割である。
- 京浜運河にはLPGなどの危険物岸壁が多いので、その場所も示して欲しい。

- 港湾の整備計画があると思うが、将来の港湾整備の図面を見せて欲しい。
- 京浜運河に橋が架かるプロジェクトがあるので、橋桁の幅なども考慮する必要があるのではないか。
- 京浜運河に計画されている橋は、航路幅には影響しない。

(3) 横浜市からの説明

横浜市港湾局から横浜市提出資料について説明を行った後、質疑応答を行った。
委員からの主な意見は以下のとおり。

- 横浜市資料（P34）に記載されている平成 15 年の横浜航路の海上交通流シミュレーションと、国土交通省資料（資料 3-13）に記載されている平成 16 年度の船舶交通流シミュレーションと結果が異なるが、同じ条件なのか確認して欲しい。
- 横浜港は航路内で急角度変針があるので、緩和された場合は、航路通航に時間がかかり効率が落ちる。
- 強制だった船舶が、過去の緩和により、どのくらいパイロットを乗船させなくなったのかを教えて欲しい。
- 船社は、港の危険性をどの程度把握して、パイロットの乗船を決めているか教えて欲しい。
- 横浜市の安全対策の現状の取組がどの程度機能しているのか確認したい。
- 事故に至らないニアミス等も明らかにできないか。
- 事故の件数ではなく、事故の発生率を示して欲しい。
- 事故データから、パイロットを乗せたことにより、安全が向上したというのがどれくらいあるかわからないか。
- 中国船が横浜に行くことを決定する要素のうち、水先料が占める割合はどの程度なのかかわからないか。
- 港費全体のうち水先料は、約 4.5% である。
- 古い調査ではあるが、平成 11 年に運輸省が行った船会社へのヒヤリングによれば、5 万トンコンテナ船の場合の港費で見ると、水先料は 5% 程度であった。
- 港費の変化と寄港移転との関係の既存研究があるのではないか。
- 横浜を選ぶのは荷物があるからという理由もあり、支出のみでは判断できないのではないか。

(4) シミュレーション調査の実施方法（案）

事務局からシミュレーション調査の実施方法（案）について説明を行った後、質疑応答を行った。

委員からの主な意見は以下のとおり。

- 外国人船長の船舶は着岸まで時間を要する。操船が他船に与える影響の方も調査して欲しい。
- 操船シミュレータ実験の被験者として外国人船長も採用して欲しい。
- 第3次交通ビジョンにより横浜航路の管制が今後どうなるのか。本検討会で管制に関する要望があった場合にどのように取り入れてもらえるのか教えて欲しい。
- 今回はたまたま横浜港だが、例えば関門など他の港でもできるように、検討の大枠は共通のシミュレーションでやれる方が良い。可能な限り評価の客観性を追求して欲しい。ただし、大枠は共通でも各港の特殊性は十分考慮しなくてはならない。
- シミュレーションのアウトプットをどう評価するかの基準を検討する必要があるのではないか。
- 入港船舶は大型化しているので、可能であれば損害額ベースでの事故データが欲しい。
- 鶴見航路の検証船舶には、危険物船も対象にして欲しい。
- シミュレーションとしては、US値（事故率）も用いてはどうか。

（5）その他

委員からの主な意見は以下のとおり。

- これを機に横浜港を見ていただきたい。また横浜港を見ていただいた日に横浜市で検討会を開催することもできるので検討いただきたい。

以上